

## お住まいの地域の移動手段

## 地域みんなで考え、

## 取り組んでみませんか？

生駒市では、公共交通や自動車・二輪・自転車・徒歩等で、商店や病院、交流のための施設（活動拠点）まで移動できない人の生活を支えるため、「市民が日常生活を行う上で必要となる活動機会を保障」していくことを基本方針として、市が主体となり公共交通サービスを検討しています。

その中で実現したのがコミュニティバス「たけまる号」の運行です。しかし、市の財政が厳しいことや、たけまる号が適さない地域も出てきており、現在の公共交通サービスを補完・連携するような、地域の皆さまが中心・主体となった公共交通サービスの導入についても必要となってきています。

公共交通サービスの導入は、普段自動車を利用する人にとっても、移動手段の幅が広がる、家族等を送迎する負担が減るなどの良いこともあります。

## 地域の移動手段について、お困りのことや困っている人はいませんか？

元気なうちは自動車や徒歩・自転車等で移動できますが、年齢を重ねると、駅やバス停まで歩くことが辛くなってきたり、自動車の運転に自信がなくなってきたりして、外出そのものが億劫になり、家から出る回数が減っている人もいるかもしれません。



駅やバス停まで  
歩くことが  
辛くなってきた

地域のイベントに  
参加したい！  
でも移動手段がない

お迎えの時間を  
気にせず  
友達と遊びたい

外出するのが  
おっくう

家族に送迎を  
頼んでいるけど  
気が引けてしまう

出かけたときに  
出かけられない

自動車を持たない  
一人暮らしの高齢者が  
増えてきた

親が高齢で運転が心配。  
免許返納  
してくれないかな

親、夫、子どもに  
送迎を頼まれて  
自分の時間がない

近所の人で  
外出できない人が  
増えてきた



## 地域の移動について、地域みんなと一緒に考え、取り組んでみませんか？

生駒市では、地域の公共交通の課題解決に向けて「生駒市地域公共交通活性化協議会」を設立し、長年検討を続けています。



0 市に相談

地域の中で、お出かけのことでお困りごとがありましたら、まずは生駒市までご相談ください。



1 話し合う

地域の皆さまが考える望ましい将来像、導入したいと思っている交通手段のイメージなど、お住まいの地域の将来を語り合しましょう。



2 調べる

地域の中でお出かけに困っている人を調べてみましょう。



3 種類を考える

地域にとって望ましい公共交通サービスの種類を考えてみましょう。



4 組織作り

公共交通サービスの具体的な運行内容等を検討するために、中心となる組織や協力体制を考えてみましょう。



5 運行を考える

新たな公共交通サービスの具体的な運行内容等を検討しましょう。



6 運行開始

試験運行（実証実験）を行いましょう。試験運行結果を受けて、問題点を改善し、本格的な運行を開始しましょう。



7 続けるために

運行開始した公共交通サービスが、継続的な取組になるように、利用促進活動や広報活動（困っている人への働きかけ）、運行内容の見直し、サービスの拡大等を実施しましょう。



## 地域で主に進めること

- **地域の将来**を話し合う。
- 必要な**交通手段のイメージ**を共有する。

- **困っている人や地域の課題やニーズ**を調べる。
- **利用しそうな人数や特徴**を調べる。

アンケート調査を実施

ヒアリング調査を実施

- まずは、**近くを運行している公共交通に乗ってみる**。
- **公共交通サービスの種類**を考える。  
※主な種類は右のとおり。

- 公共交通サービスの具体的な検討をするための**組織・チーム**をつくる。

- **公共交通サービスの運行内容等**を考える。

運行ルート・乗降場所

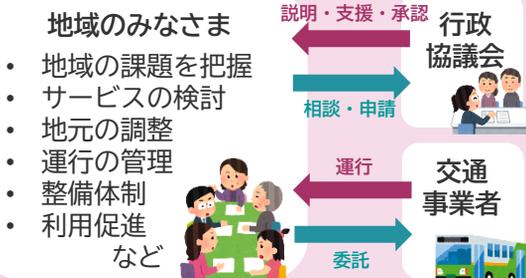
車両

運行ダイヤ

利用方法

運賃

生駒市は地域での検討などを支援します



## 公共交通サービスの種類の例



鉄道、路線バス、タクシー



### <課題解決に向け出来ること>

- 市内には、鉄道は近鉄電車、路線バスは奈良交通バス、民間タクシーが運行しています。
- 新たな路線や系統をつくることは難しいですが、ダイヤ接続の見直しや待合環境の改善等については、市と交通事業者で協議することが可能です。
- タクシーをみんなで乗り合って利用する（相乗りサービス）など、現状の公共交通を工夫して活用することも可能です。



コミュニティバス「たけまる号」

### <課題解決に向け出来ること>

- 光陽台線、門前線、北新町線、西畑・有里線、萩の台線の計5路線を運行しています。
- 現在運行している路線のルート・ダイヤの見直しや、路線の新設などを検討することが可能です。
- ただし、路線新設には市の基準を満たす必要があります。また、運行に必要な費用が、運賃収入だけでは不足する場合は、沿線地域からも負担を求めることがあります。



自家用有償旅客運送

### <課題解決に向け出来ること>

- NPO法人や認可地縁団体等が、自家用車を用いて有償で運送する仕組みです。
- どこでも誰でも実施できる訳ではなく、協議会で協議が調った上で、国土交通大臣の登録を受ける必要があります。
- この運送が実現できれば、路線バスやタクシーでは対応しきれない小規模の移動ニーズや多様な移動ニーズに応えることが可能となります。



許可・登録を要しない輸送

### <課題解決に向け出来ること>

- ボランティアや地域の助け合いで実施される、道路運送法上の許可・登録を受けずに自家用車を用いて無償または実費相当額で運送する仕組みです。
- ドライバーが実費以外に対価を受け取る場合は、許可・登録が必要になるため、注意が必要です。
- この運送が実現できれば、路線バスやタクシーでは対応しきれない小規模の移動ニーズや多様な移動ニーズに応えることが可能となります。

## ? 地域みんなでつくりあげる公共交通サービスとは

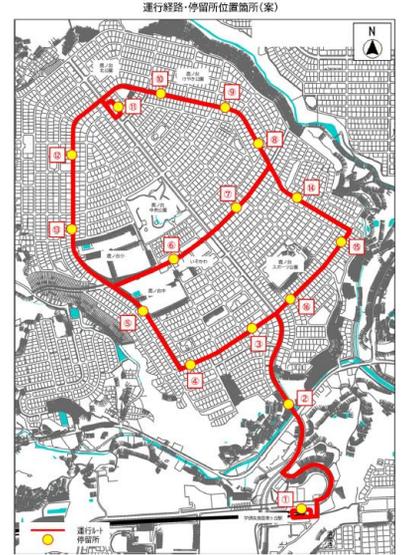
地域みんなでつくりあげる公共交通サービスとは、地域住民が主体となって、課題を把握し、その地域に必要な公共交通サービスを自ら検討し、実際に運行し、利用促進等を行っていく取組のことを指します。

地域の皆さまが中心になって取り組みますが、生駒市（協議会）、交通事業者など、専門的な知識や経験を有する関係者が、地域での検討状況に応じて協力・連携します。

## コミュニティバス 鹿ノ台自治連合会を中心にコミュニティバスの実証実験を開始

- 生駒市鹿ノ台地区では、自治連合会を中心に住民が自ら運行実施に向けてアンケート調査や運行計画の内容（運行経路、運行日数、運賃等）の取りまとめを行うなど、地域に即したコミュニティバスの運行計画の検討を行ってきました。
- その検討結果を受けて、生駒市地域公共交通活性化協議会と地域が協働で、鹿ノ台地区コミュニティバスの実証運行計画案（下表）を作成し、令和4年度の実証運行開始に向けて協議を続けています。

運行主体	生駒市がバス事業者に委託
運行日	月・水・金曜日（祝日・12/29～1/3を除く）
運行時間	概ね10時～16時
運行回数	8便/日（33分/便）
運賃	190円（生駒市コミュニティバスの運賃200円との差額10円、既存路線バスと重複する区間の運行経費の1/2は自治会負担）



※実際の運行は、学研奈良堂美ヶ丘駅から「⑧」の停留所を経由する8の字の左回りと、「⑧」の停留所を経由する8の字の右回りの交互運行とする。

（生駒市地域公共交通活性化協議会ホームページより抜粋）

## 自家用有償旅客運送 奈良県宇陀市の地域の皆さんが運転手をしている公共交通

- 宇陀市では、実証実験をしていたボランティア有償バスが、令和3年12月1日より「かぎろひバス」として本格運行しました。
- 大宇陀の上龍門地域まちづくり協議会、大宇陀政始まちづくり協議会と一緒に事業を進めており、地域の皆さんが運転手となって運行しています。

運行主体	宇陀市（市とまちづくり協議会で共同運行）
運行日	月・水・金曜日：西まわり 火・木曜日：東まわり
運行回数	1日6便（概ね8時～17時まで）
運賃	1回あたり：300円
予約方法	電話による乗車予約方式（予約締切：前日の16時まで）



（宇陀市ホームページを基に編集）

## 許可・登録を要しない輸送 奈良県大和郡山市の矢田地区高齢者移動支援事業「矢田おでかけGO」

- 大和郡山市の矢田地区では、あらかじめ募集した65歳以上の高齢者を会員として登録し、地域のボランティアの皆さんが運転を行い、最寄りのバス停まで送迎する「矢田おでかけGO」を実証実施しています。

運営	矢田地区社会福祉協議会（大和郡山市が委託）
運行日等	週3回、1日1、2往復
運賃	運賃は無料、事前登録料1000円



（大和郡山市ホームページを基に編集）

お気軽に  
お問合せください

## お問合せ先

■生駒市 建設部 事業計画課 交通対策係  
TEL：0743-74-1111（内線2520）

■奈良運輸支局 輸送担当  
TEL：0743-59-2151

